

2026 JaLCミニセミナー 2日目

DOI登録後の維持管理とトラブル対処法

2026年9月8日
国立情報学研究所
IRDB担当

1. DOIが有効にならない時の対処法
2. ランディングページの変更手続き
3. DOIの取り下げ方法

IRDBのハーベストから1週間以上経ってもDOIが有効にならない時は、以下①～③の順番に確認することをお勧めします。

- ① コンテンツがIRDBにハーベストされているか確認
- ② コンテンツがレコードエラーになった時の確認方法
- ③ コンテンツがJaLCへの連携対象になっているか確認

方法は以下の2通りあります。

1. ハーベスト通知メールでレコードエラーを確認

※レコードエラーについては②で説明します

2. コンテンツのOAI-IDをIRDBマイコンテンツで検索して確認（検索にヒットしなかったら登録されていない）

Check!



IRDBマイコンテンツ・ユーザー情報の使い方：

<https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/harvest/usercontents>

https://repository.nii.ac.jp/oai?verb=GetRecord&metadataPrefix=jpcoar_2.0&identifier=oai:repository.nii.ac.jp:02002353



5

このコンテンツのランディングページ: <https://repository.nii.ac.jp/records/2002353>
JAIRO Cloudでは、アイテム(コンテンツ)詳細画面のエクスポート欄にOAI-PMH出力するボタンがあります。

OAI-IDはIRDBがコンテンツを識別する時のキーの役割を果たしています。
なお、timestampはコンテンツの最終更新日を示しています。この日付が前回ハーベスト以降の場合、次回IRDBハーベストの対象になります。

IRDBマイコンテンツ画面
NII

IRDBにログインして上袖のメニューから「マイコンテンツ」を選択

1件中の 1 件目 ~ 1 件目を表示

oai-id	OA連携先種別	項目エラー件数	ワーニング件数	項目更新件数	メッセージ	DOI	更新日時
oai-repository.nii.ac.jp:02002353	jalc: irdb	1	0	0	- 該当アイテムのURL = https://doi.org/10.20736/0002002353 https://repository.nii.ac.jp/oai/verb=GetRecord&metadataPrefix=igcar_2&identifier=oai-repository.nii.ac.jp:02002353 - 項目登録エラー：対象項目のみ削除されてアイテムがIRDBに登録されています。 [作成者識別子] 識別子(ROR)に誤った値が設定されています。 (@4e6dd47)	JALC:10.20736/0002002353	2026/06/07 - 18:20

6

コンテンツのOAI-IDをIRDBマイコンテンツの「oai-id」に入力して検索すると、そのコンテンツがIRDBにハーベストされている場合はヒットします。ヒットしない時はそのアイテムはIRDBにハーベストされていません。

なお、IRDBマイコンテンツでは、「更新日付」(直近でIRDBにハーベストされた日)や「項目エラー件数」などのフィルターを使ってコンテンツを絞り込み表示することもできます。

- IRDBハーベスト時のエラーチェックでレコードエラーになったコンテンツは、IRDBに登録されません。
- IRDBはOAI-PMH出力を元にエラーチェックを行うので、エラーになった際はOAI-PMH出力を確認しましょう。
 - OAI-PMH出力例
repository.nii.ac.jp/oai?verb=GetRecord&metadataPrefix=jpcoar2.0&identifier=oai:repository.nii.ac.jp:02002353
- IRDB連携やJaLC連携のために必須の項目が出力されているか確認しましょう。
 - エラーチェック仕様は1日目スライド25を参照

コンテンツがIRDBに登録されているのにDOIが有効化されない場合は、以下のように、コンテンツがJaLCへの連携対象になっているか確認しましょう。

- ・ IRDBマイコンテンツで「OAI連携先種別」を確認
 - 「OAI連携先種別」に「jalc」と表示されている場合、そのコンテンツはJaLCへの連携対象となっています。

スライド6のキャプチャの
左下部分を掲載→

oai-id	OAI連携 先種別	項目エラ 一件数	ワーニン グ件数	項目変 換件数
oai:repository.nii.ac.jp:02007353	jalc, irdb	1	0	0

8

「OAI連携先種別」に「jalc」が表示されない原因としては、コンテンツのOAI-PMH出力に「ID登録(jpcoar:identifierRegistration)」がないためにIRDBがDOI有コンテンツと認知できないことが考えられます。この場合はワーニング「[識別子] ID登録の情報がありません。(jpcoar:identifierRegistrationにDOI情報を入力してください)」が出ます。

①～③の確認後も原因が分からない時は、
以下のIRDB窓口までお問い合わせください。

<https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/form/contact>

1. DOIが有効にならない時の対処法
2. ランディングページの変更手続き
3. DOIの取り下げ方法

- ・ランディングページとは

「DOIと関連付けられたwebページ。DOIを解決(クリック)したときに表示されるページ。」[1]

- ・ランディングページのURLは、JPCOARスキーマでは以下の項目に記述します。
 - 「識別子」 `jpcoar:identifier identifierType="URL"`
 - 参考 : <https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/schema/2.0/18>

[1]JaLC事務局「2026年度JaLCミニセミナー『DOIとDOI登録の基礎』」
スライド9より引用

ランディングページのURL

12

DOIを維持したままランディングページのURLを変更することは可能です。ただし以下の点について確認をお願いします。

- ・ランディングページのURL変更に伴いOAI-ID（スライド5を参照）も変更になるか？

- **No**→ IRDB窓口へのご連絡は不要です。コンテンツの識別子（jpcoar:identifier）を更新し、IRDBにハーベストさせれば、その更新がJaLCに連携されます。
- **Yes**→IRDBはOAI-IDをコンテンツの識別子として使用しているため、OAI-IDが変更になると、そのままでは同じコンテンツとして認識できなくなります。この場合は事前にIRDB窓口までご連絡ください。

13

リポジトリシステムのリプレイスや変更によってコンテンツのランディングページのURLが変更になった時、DOIを継続使用することは可能です。

「IRDBデータ提供機関のためのDOI管理・メタデータ入力ガイドライン」本編の2-3にも説明があります。

2.3 DOI 登録済コンテンツの OAI-PMH の Identifier、URI 変更

DOI 登録済のコンテンツの OAI-PMH の Identifier（以下 OAI-ID）や URI（メタデータ要素 “jpcoar:identifier” のうち、“identifierType” 属性に “URI” 及び “HDL” を持つもの）は、やむを得ない理由でコンテンツのメタデータを登録し直す場合や、機関リポジトリのシステムリプレイスを行う場合等に、変更されることがある。それぞれの場合について、DOI 登録済コンテンツの URI を正しく変更する方法は、以下の通りである。

- ・ OAI-ID が変更の場合
NII の機関リポジトリ担当に対応を依頼する。
- ・ OAI-ID が不変の場合
特別な対応は不要である。

1. DOIが有効にならない時の対処法
2. ランディングページの変更手続き
- 3. DOIの取り下げ方法**

- DOIの取り下げとは
 - DOIのリンク先（ランディングページ）を墓標ページに変更すること。
 - 一度登録したDOIは削除できないため、コンテンツの公開を停止した場合はDOI取り下げの対応を行う。
- DOIの取り下げは各機関の判断で行います。
- DOIはコンテンツに持続的にアクセスする仕組みです。
取り下げはできる限り行わないでください。

やむを得ない場合の例

1. 著者から公開停止の依頼があり、コンテンツを公開し続けることが難しくなった。
2. 研究データや論文に重大な問題が見つかり、公開を継続することが適切でないと判断された。
3. 査読用に公開していた研究データについて、公開を継続しないことになった。
4. 著作権や個人情報などの問題が後から判明し、公開停止が必要になった。
5. テストコンテンツにDOIを登録してしまった。
(テストでのDOI登録はお控えください)

DOIを取り下げなくてもよい例

1. 本文ファイルを公開できなくなった。

→「本文URL (jpcoar:URI)」に値があれば、本文ファイルが非公開でもDOI登録には差し支えありません。

2. 同じコンテンツに2つのDOIが登録されている。

3. リポジトリ閉鎖などの事情によってDOIの維持管理が難しい。

→2と3はDOI維持の対応が可能です。IRDB窓口にご相談ください。

18

・1の補足

「本文URL (jpcoar:URI)」はJPCOARスキーマのメタデータ項目です。

JPCOARスキーマガイドラインサイト: <https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/schema/2.0/43-.1>

「本文URL」は、5つのJaLCコンテンツ区分すべてにおいて、JaLC連携に必須の項目です。

・2の補足

以下の場合にもDOIの統合が可能です。

①二重登録(システム・手動のミス): 同じ論文やデータに、誤って複数の異なるDOIを発行してしまった。

②出版社・プラットフォームの移管: ジャーナルの譲渡やサイトの引っ越しにより、組織番号(プレフィックス)が変わるとき。

③バージョン統合・プレプリント紐付け: データの改訂版やプレプリント(査読前)を、最新・正式版のDOIへ自動誘導したいとき。

④DOI文字列(サフィックス)のタイポ修正: DOIのサフィックスに誤字・脱字があり、正しい文字列で再発行して転送するとき。

⑤その他(コンテンツの構造再編など): 1冊の本を章ごとにバラすなど、上記4つに当てはまらない理由で統合・転送するとき。

IRDBでは以下のようにDOIを取り下げ（墓標化）します。

1. リポジトリ側でコンテンツを削除する。
2. IRDBがコンテンツの削除情報をハーベストする。
 - ・ OAI-PMH出力で<header status="deleted">が表示されているOAI-IDについて、IRDBはコンテンツが削除されたものとして扱います。
3. IRDB内でコンテンツのランディングページのURLを墓標ページのURLに書き換える。
4. IRDBからJaLCシステムにデータ更新を連携する。
5. DOIがIRDBの墓標ページに遷移するようになる。

IRDB 検索 コンテンツ統計(全体) 機関リポジトリ一覧**このDOIは無効です**

このDOIは現在意味のあるコンテンツと関連付けられていません。

もしこれが誤りだと考えられる場合は、お手数ですが下記ページお問合せフォームよりお知らせください。

<https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/form/contact>

Invalid DOI

This DOI is invalid and not currently attached to any meaningful content.

If you think this is an error, please let us know using the contact form on the following page.

<https://support.irdb.nii.ac.jp/en/form/contact>

- 一度DOIを登録したコンテンツのメタデータは、DOIの取り下げ後もJaLCのデータベース上で維持されます。
- そのため、JaLCとデータ連携しているシステム（CiNiiなど）にもメタデータが残り続ける可能性があります。

「IRDBデータ提供機関のためのDOI管理・メタデータ入力ガイドライン」本編の2-2にも説明があります。

2.2 DOI の取り下げ

DOI は、コンテンツに持続的にアクセスする仕組みであるので、コンテンツに登録した DOI は、原則として削除や変更を行ってはいけません。やむを得ない場合は、コンテンツの取り下げを行い、IRDB にハーベストさせること。それにより、その DOI は対象コンテンツが存在しないことを記載した Web 画面とリンクすることになる。



図 2-2. 取り下げ DOI を示す画面